



# 奄美市立 小湊小学校

児童数 12人  
学級数 3クラス



## 《テーマ》

郷土（シマ）を愛し、心豊かで心身共にたくましい小湊っ子の育成  
～お互いに認め合う仲間づくり～

### 研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校は極小規模校で、児童は学年を越えて仲がよく素直である。令和2年度は「人権の花」運動の指定を受け、様々な取組を通して人権意識や人権感覚の高まりが見られた。令和3年度は、更に互いに認め合う仲間づくりの場を意図的に設定し、家庭と連携した教育活動を推進することで、本校児童の課題である自己肯定感が高まるのではないかと考え、本テーマを設定した。

### 研究スケジュール

6月22日(火) 人権集会  
8月2日(月) 職員研修「人権同和教育」  
10月18日(月) 職員研修・家庭教育学級  
11月24日(水)～12月7日(火) 人権旬間  
12月1日(水) 人権教室(講師：人権擁護委員)  
1月24日(月) 職員研修「人権同和教育」  
※「学校楽しいーと」実施(年3回)

### 特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

#### □ 人権集会・人権目標発表

県教育庁人権同和教育課から講師を招聘して、「自尊感情の育成と人間関係づくり」に関する講話と参加型の活動を行った。また、児童一人一人が立てた今年度の人権目標を発表した。



【人権目標の発表】

#### □ 校内人権旬間（11/24～12/7）

全校朝会での校長講話、人権擁護委員による人権教室、人権標語作成、人権に関わる授業等の取組を通して、自分を大切にし、相手を尊重する気持ちの高まりが見られるようになった。

#### □ 職員研修・家庭教育学級における人権教育講話

教職員、保護者を対象に、県教育庁人権同和教育課から講師を招聘して、「子供の自己肯定感を高めるための教師・保護者の関わり方」をテーマに人権教育講話を行った。子供への関わり方を考えるよい機会となった。



【褒め朱書き】

#### □ 教室・廊下設営

自尊感情や自己肯定感を高めるために、「人権コーナー」や「ふわふわ言葉コーナー」を設置し、掲示物への教師による褒め朱書き等の取組を行った。

### 子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 人権学習を通して、自分のよさに気付き、相手を尊重する気持ちをもつことができた。さらに、教師が発達段階に応じて価値付けを行うことで自己肯定感の高まりも見られた。
- 今後も児童の自尊感情や自己肯定感が高まるよう積極的な人権教育に取り組んでいきたい。また、教師の人権意識や人権感覚の向上を図るために継続的な研修に取り組んでいきたい。